



地域の方々に

見守られながら

山野保育園 園長

松居 英利子

5月下旬、園児体験農場で、いちご狩りをさせていただきました。いもっこ倶楽部の方が丹精込めて作ってくださったいちごをほおぼるとどの子も満面の笑み。「今年は生育が良くなって皆の分があるかな」とおっしゃっていました。2週に分けて山野保育園園児全員が充分味わう経験ができました。

次の週には、さつま芋の苗植えをさせていただきました。竹でできた秘密兵器が登場しマジックのようにマルチに穴をあけ、あっという間に苗が植わっていく様子を見て、子ども達も真似しながら植えていました。何人もの地域の方に手を添えて丁寧に教えてもらいながら真剣な表情で植えている子ども達の姿を見て、貴重な体験と温かく見守ってもらえる環境に山野の子は、幸せな子達だなと感謝の気持ちでいっぱいになりました。これらの経験が子ども達の豊かな感性や社会性を育ててくれると感じています。

これからも、様々な機会の中で地域の方との交流を大切にしていきたいと思えます。

だれでもなんでもサロン

山野交流センターで毎週火曜日午後2時からだれでも気軽に集まれる交流の場、仲間づくりの場として「だれでもなんでもサロン」を開催しています。編み物、簡単な工作、おやつ作り、雑談、健康マージャン等思い思いに楽しむことができます。

また、第2、第4火曜日にはアイウエーブから講師の方に来ていただき、軽運動やゲームを教えてくださいたいです。
4時ごろからは、保育園帰りの園児や小学生の児童たちも合流し、かわいらしい笑い声であふれます。



ふれあいパークゴルフ大会

スポーツ委員長 榎木 勝規



5月19日の日曜日に庄川清流パークでふれあいパークゴルフ大会を開催しました。ゴルフに似ていますが通常のゴルフボールより大きなボールを使って専用のミニコースをまわるパークゴルフは、子どもからお年寄りまで気軽に楽しめます。
やや風の強い中でしたが、前日に運動会を終えたばかりの小学生親子も含め16名が参加。10代から70代後半まで

幅広い年齢の参加者が4人ずつのチームをつくって計18ホールに挑戦しました。小学生や女性、70歳以上の高齢者の方にはハンディをつけて、総合成績上位者を表彰しました。
栄えある優勝は藤原洋さん、準優勝は高熊英樹さんでした。今後も恒例の行事として開催します。ぜひ地域のみなさんご参加をお待ちしています。



環境美化運動

総務部長 高山 博文



6月3日朝7時から山野交流センター前の花壇やプランターに、花と緑の銀行山野支部、グリーンキーパー、ボランティアグループ鳳泉会の方々のご協力によりトレニアやマリーゴールド、センニチコウ、サルビアなど8品種、約460本の花苗を植えました。

これから9月まで交流センター職員が毎日水遣りなどたいせつにお世話していききたいと思います。また、今年はいじめて毎日の水遣りの軽減になればと高屋の村岡豊彦さんに自宅の消費用バンプを花壇に設置していただきました。おかげで今年の水遣り時間が大幅に短縮されました。ご協力をいただきました皆さんに感謝いたします。



地域内道路等維持サポート事業

山野地域づくり協議会では、地域内道路等維持サポート事業の受付を随時行っています。これは、南砺市の住民自治推進交付金のなかのメニューの一つで環境美化の一環として地域内の道路や歩道を地域で草刈り、清掃、道路等維持作業を実施される自治会に補助するものです。実施前に必ず地域内道路等維持サポート

事業取組予定報告書を山野地域づくり協議会に提出していただき、完了後実績報告を提出いただくことで年末に補助金をお支払いします。

今年度は現在坪野、山斐、高屋各自治会から報告書が提出されています。まだまだ受付していますので積極的に申し出てください。



坪野地内



山斐地内



高屋地内

山野地域防災安全部の目標

防災安全部長 西村 一郎



元日の午後4時10分携帯が騒がしく鳴る、緊急地震通報と同時に経験の無い揺れに不安を感じた住民が大半と思います。幸いにも山野地域内では大きな被害もなく安堵したところですが、しかしながら自然災害は予告なくいつ何時でも発生する可能性があります。南砺市は東西の山脈には断層が有り、いつ地震が発生しても不思議で無いと思います。日頃からの備えと訓練が必要です。

部会では、能登半島地震と同等の被害が発生し最悪の事態を想定し自助・共助の出来る事をマニュアル化し住民からの犠牲者を少なくすることを目標とします。昨年までは各種団体の代表者でしたが部員数を全地域に求め10名増やし多様な意見を纏め地域に沿う様なものにします。



発災時の対応は、日ごろからの自助・共助・絶え間ない訓練です。公助は、後から来ます。他に交通安全、風水害等に係る、施設増強、改良についても協議し実行する予定です。

山野地区防犯青色パトロール

山野地区防犯組合長 永井 信彦



地元の防犯意識の向上及び、啓蒙活動の一環として、青色防犯パトロール、通称「青パト」があります。警察より認定を受けた団体が軽自動車に、青色回転灯を装着して地域のパトロールを行う自主防犯活動です。警察官のように法的権限は有りませんが、犯罪の防止に大きな効果が期待できるといわれています。

青色防犯パトロールを新しく始める者は、警察において青色防犯パトロール講習を受講し、講習受講証明書の交付を受ける必要があります。当地区では10地区の代表(町内会長協議会)が講習を受けています。

当防犯組合では毎年5月から11月まで毎月の第2土曜日(8月については、毎週土曜日)のパトロールを夜7時~9時の内、1時間程度実施しています。

犯罪は減少傾向にあるといわれていますが空き家に対するパトロール、地元住民に対する声掛け、夏の犯罪抑止等、地元の一員として協力したいと思えます。



令和6年度役員紹介(3月以降決定分)

山野青年会

- 会長 長谷 力(岩)
- 副会長・広報委員 高田 拓(高)
- 地域活性化委員 東城 力憲(山)
- 盆踊り実行委員 山田 智生(清)
- 文化祭実行委員 川原 直人(専)
- 役員 澤田 稔樹(坪)
- 役員 高山 真一(飛)

児童クラブ育成連合会

- 会長 澤田 直樹(高)
- 副会長・広報委員 鎌 匠志(専)
- 庶務 (母親クラブ会長) 藤永つばさ(山)
- 会計 棚田 忠(安)
- 監事 吉田 恵理佳(安)
- ” 藤永 佳宏(山)
- ” 大浦 絵美(専)
- ” ふれあい委員 山本 里志(飛)
- ” 山本 有紀子(飛)
- 文化委員 吉田 茂兼(坪)
- ” 吉田 歩美(坪)
- ” 棚田 忠
- スポーツ委員 吉田 恵理佳
- ” 澤田 直樹
- ” 活性化委員 磯邊 友美(清)
- ” 井波地区連合理事 宮林 隆宏(岩)
- ” 斎藤優貴子(岩)
- ” クリスマス会 藤永 佳宏
- ” 大浦 絵美

令和6年度 山野地域づくり協議会 各委員会委員

総務委員会

高山 博文 (委員長)
 齋藤 義宏 吉田 達雄
 永井 信彦 谷畑 清春
 長谷川秀信 細川 正成
 磯辺 紀之 高田 拓
 高田かおる

広報委員会

高山 博文 (委員長)
 齋藤 義宏 吉田 達雄
 永井 信彦 谷畑 清春
 梧桐 明朗 細川 正成
 磯辺 紀之 高田 拓
 鎌 匠志 藤永つばさ

防災・安全委員会

西村 一郎 (委員長)
 長谷川義晃 岩城美智恵
 波能 治男 高田 実
 瀧本 恵子 崎田 栄信
 高山 光夫 松田 清
 木下 晴雄 岩倉 正晴
 齋藤 幸宏 堀 直毅
 村岡 豊彦

ボランティア委員会

川上 久志 (委員長)
 磯邊 正博 高田かおる
 藤原 富子 川上 裕子
 村岡 洋子

ケアネット委員会

長谷川光徳 (委員長)
 渡邊 正博 (副委員長)
 藤原 洋 崎田 栄信
 岩崎 宏志 齋藤 嘉明
 長谷川秀伸 永井 信彦
 山崎 茂 山田 義弘
 高田 繁 梧桐 明朗
 大浦 智子 長谷川光徳
 藤原 真美 松川 久
 稲垣 俊広 村岡 洋子
 小林 文次 才川かおり
 境 有司 岩崎 豊久
 高山 博子 往蔵 千鶴
 吉田 陽子 澤田真理子
 大浦 徹

ふれあい委員会

高田 博之 (委員長)
 村岡 洋子 (副委員長)
 藤原 真美 (副委員長)

教科書委員会

山田 義弘 高田 繁
 高山 光夫 板橋 秀司
 山本 里志 山本有紀子
 小林 文次 境 有司
 吉田 陽子 才川かおり
 澤田真理子 大浦 徹
 岩崎 豊久 高山 博子
 往蔵 千鶴 高田かおる
 大浦 智子 長谷川光徳
 稲垣 俊広 松川 久

活性化委員会

高木 権一 (委員長)
 藤原 洋 (副委員長)
 松川 毅 越後 祐子
 前川 達夫 松川 恵里
 鎌 匠志 越山 穂高
 永山 大 岩城美智恵
 高山 千尋 西村 一郎

特産委員会

佐竹 弘昭 (委員長)
 西村 源信 岩崎 宏志
 高木 権一 東城 力憲
 澤田 直樹 磯邊 友美
 榎木 勝規 松川 恵里
 西村 一郎 石倉 和宏
 藪 晴美 村岡 洋子
 大浦 英征 (委員長)
 岩崎 修 山田 義弘

文化委員会

高山 璃奈 山崎 茂
 河原 光顕 森井 孫俊
 西村 一郎 高田かおる

スポーツ委員会

大浦 均 (委員長)
 岩崎 修 木下 晴雄
 山田 義弘 長井 昭二
 松長ひろ子 藤川 泰子
 吉岡 進 嶋 里子
 森田真理子 波能 治男
 板橋 秀司 川原 直人
 山田 智生 吉田 茂兼
 吉田 歩美

榎木 勝規 (委員長)
 浅井 吉紀 坂口 通
 西村千佳子 齋藤 眞二
 齊藤 昌弘 高山 真一
 田中 幸 柴田三希子
 柴田 将吾 長谷川雅弘
 越山 穂高 前川 恵弓
 松原 数喜 小林 憲司
 西村 卓郎 崎田 健史
 谷川 快男 高田 龍輔
 高山 憲一 野村 昌浩
 松長 寿 吉田 陽子
 棚田 忠 吉田恵理佳

山野地域づくり協議会1年の歩み

令和5年度 事業報告

- 総 会** 令和5年5月27日、令和4年度総会を山野交流センター2階スポーツ室で実施。全議案賛成多数により原案通り可決されました。
- 地域活性化部** 里芋で元気なまちづくり事業として里芋植付と収穫、販売
里芋掘り取り体験会・有料（10月）216組参加
ふれあい広場「産直の店」開設（4月後半より）
保育園児とのさつまいもといちごの収穫体験交流会
住民主体の移動サービス「やまのりくん」実施
だれでも・なんでもサロン開設（毎週火曜日 年48回開催）
空き家対策セミナー（9月）
- 健康福祉部** ケアネット委員会・研修（年3回）、ふれあい祭り（敬老会）米寿表彰、敬老饅頭配布
三世代交流事業もちつき（12月）、3無健康マージャン大会（年3回開催）
フレイルチェック（7月、2月）、ほのぼのの家（2月）
- 文化・スポーツ交流部** わいわい健康スポーツDay（毎月第2・4土曜日 年22回開催）
立山登山（8月）、盆踊り大会（台風で中止）、ふれあい祭り（10月文化祭）
チャレンジスポーツやまの（9月）、エンジョイビーチボール大会（3月）
- 防災・安全部** 交通安全マスコット製作
防災備品展示
- 総 務 部** 「広報やまの」年3回発行 春・冬花壇の花植え、球根植え
農村公園、慰霊碑前、保育園園庭草刈、環境美化、地域内道路維持サポート事業
- ボランティアグループ** サロン「いきいき健康教室」（毎月第1・3金曜日 年23回開催）
- *その他 井波地域、南砺市地域づくり協議会連合会 生涯学習連絡協議会 事務局長情報交換会地域づくりセミナー等に参加。各部各委員会の会議が開かれています。

令和6年度 事業計画

- 総 会** 令和6年5月25日 山野地域づくり協議会第5回通常総会が開催され、全議案賛成多数で原案通り可決されました。
- 地域活性化部** 住民主体の移動サービス「やまのりくん」継続
里芋で元気なまちづくり事業として里芋栽培・収穫、販売実施（いもっこ倶楽部）
ふれあい広場やまの（産直の店）
イチゴやサツマイモの収穫体験を通して山野保育園児と交流
だれでも・なんでもサロン毎週火曜日開催、空き家対策事業、集落の教科書作成
- 健康福祉部** ケアネット委員会、視察、研修
地域でまると健康教室 地域包括ケア部専門職・食改等による健康指導（6月）
ふれあい祭り（10月敬老会） 米寿表彰、敬老饅頭配布
山野健康マージャンサロン 年3回（7月、12月、3月開催）
ほのぼのの家開催（2月）、三世代交流事業（12月）
だれでも・なんでもサロン 毎週火曜日（地域活性化部と共催）
- 文化・スポーツ交流部** パークゴルフ大会（5月）、立山登山（8月）、盆踊り（8月）、チャレンジスポーツやまの（9月）、
山野ふれあい祭り（10月文化祭）、eスポーツ大会（12月）、エンジョイビーチボール大会（3月）、
わいわい健康スポーツDay（毎月第2、4土曜日午後オープン）
- 防災・安全部** 防災訓練、地域防災計画の策定
交通安全マスコット製作
- 総 務 部** 「広報やまの」年3回発行、戦没者慰霊祭挙行
交流センター内外の環境美化活動、花壇の整備、地域内道路維持サポート事業

*昨年度から新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを受け、これまで通り新型コロナ感染対策に十分留意しながら、住民参加型の事業も増やし山野地区民の交流と相互理解、地域の活性化に資する事業を行ってまいりますので、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

令和5年度山野地域づくり協議会決算報告書

(単位:円)

収入の部

項 目	決算額	摘 要
繰越金	3,228,872	令和4年度繰越金
南砺市交付金、補助金	9,341,330	住民自治推進交付金
富山県補助金	250,000	県中山間地支援事業（特産委員会特別会計繰入分へ）
南砺市社会福祉協議会	929,000	
会費	1,310,400	504世帯×2600円
招魂社維持費、更生保護募金	86,190	507世帯×170円
雑収入	480,714	コピー代、施設維持協力費等
事業収入	203,100	ふれあい祭りバザー
会費（事業）	172,000	立山登山、健康マージャン
公租公課（固定資産税）	122,531	第1～第4営農組合
合 計	16,124,137	

支出の部

(単位:円)

項 目	決算額	摘 要
会議費、役務費、需用費	637,634	総会、役員会、保険、固定資産税等
文化・スポーツ交流部	842,417	ふれあい祭り、立山登山、盆踊り大会、チャレンジスポーツやまの等
地域活性化部	800,194	特産委員会活動費、やまのりくん、だれでも・なんでもサロン等
健康福祉部	496,611	ふれあい祭り、ケアネット活動、ほのぼのの家、三世代交流会等
防災・安全部	90,895	防災活動・備品、交通安全マスコット
総務部	504,195	広報誌、地域内道路等維持サポート事業ほか環境美化等
委託費、地域づくり助成	1,191,240	自治会、各種団体へ助成(山野分団含む)
通信費、光熱費	1,009,692	電話料、受信料、ガス、電気、水道、灯油
備品費、管理費	976,632	ノートパソコン、シュレッダー、コピー機レンタル、消防設備点検等
負担金、研修費	457,602	各部各種負担金、会費等
推進人件費	4,850,941	職員給与、役職手当
修繕費、諸雑費	391,796	調理室天井扇、事務所扉修繕、和室障子張り替え等
慶弔費	0	
特産委員会特別会計繰入金支出	250,000	特産委員会特別会計へ繰入金支出
繰越金	3,624,288	
合 計	16,124,137	

令和6年度山野地域づくり協議会予算

(単位:円)

収入の部

項 目	予算額	摘 要
繰越金	3,624,288	
南砺市交付金	9,096,300	
南砺市社会福祉協議会	941,000	
県補助金	250,000	県中山間地支援事業（特産委員会特別会計繰入分へ）
会費	1,310,400	504世帯×2,600円
招魂社維持費、更生保護募金	85,680	504世帯×170円
雑収入	460,383	コピー代、施設維持協力費、貯金利息等
事業収入	300,000	盆踊り、ふれあい祭りバザー
会費（事業）	300,000	立山登山、慰霊祭等
公租公課（固定資産税）	121,949	第1～第4営農組合
合 計	16,490,000	

支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	摘 要
会議費、役務費、需用費	752,000	総会、役員会、保険、固定資産税等
文化スポーツ交流部	1,255,000	盆踊り、ふれあい祭り、立山登山、eスポーツ大会等
地域活性化部	1,240,000	送迎サービス、だれでも・なんでもサロン、集落の教科書等
健康福祉部	781,000	敬老会、ほのぼのの家、ケアネット活動等
防災・安全部	410,000	防災訓練、防災備品、交通安全マスコット等
総務部	822,000	広報誌、戦没者慰霊祭、地域内道路等維持サポート事業、結いネット等
委託費、地域づくり助成	1,205,000	自治会、各種団体へ助成（山野分団含む）
通信費、光熱費	1,100,000	電話料、受信料、ガス、電気、水道、灯油
備品費、管理費	1,050,000	パソコン、コピー機レンタル等
負担金、研修費	400,000	各部各種負担金、会費等
推進人件費	4,638,300	職員給与、役職手当
修繕費、諸雑費	370,000	洗剤、消臭剤、ごみ袋、地球等
慶弔費	20,000	
特産委員会特別会計繰入金支出	250,000	特産委員会特別会計へ繰入金支出
予備費	2,196,700	
合 計	16,490,000	



山野の魅力紹介

3

TATENO BASE

昨年1月清水明地内に新しくオープンしたTATENOBASEは、自動車、二輪車の売買、整備、修理、カスタム、ペイントなど幅広く手がける県内では数少ない自動車、オートバイ整備の専門店である。

代表の開発慎次さんは、高岡市立野出身で、10年前に自宅のガレージを自らが所有する10000ccのハーレーダビッドソンや1300ccの国産のモーターサイクルを分解したり組み立てたりする趣味の部屋に改装したことが現在の仕事のルーツであり、名前の由来だという。

かつて8年ほどオートバイ専門店であった後、会社員を経て井波の自動車整備工場で自動車整備士として勤務する傍ら顧客からの依頼に応えオートバイのカスタムも手掛けてきた。その後徐々に自動車整備よりオートバイのカスタムの仕事

が増えたことから、令和4年8月に自動車整備工場内で独立した。その後依頼がさらに増え仕事場が手狭になったことから令和5年土地所有者の協力により現在の場所に新規移転した。

県内にオートバイ専門店はいくつかあるが、自社製品以外を扱うところが少ないうえ、各社メーカーの整備やカスタムを手掛けるところは、呉西地区でもここだけとのこと。そのため、顧客は県内のみならず石川県など様々なところから訪れている。現在の場所は国道156号沿いの井波の玄関口に位置することから、初めての人にも分かりやすく好評であり、口コミにより新規のお客さんが増えている。

近年再びバイクが見直されるなか、開発さんのところを訪れるお客も若年層から80歳代まで幅広い。しかし、開発さん

は、バイクはルールを守って安全に楽しく乗ってもらおうのが一番であるとの考えから、ルールを守らない人はお断りとのこと。

現在開発さん一人で営業から車検・整備、カスタムまですべ

てを行っているため、多くの依頼にすぐには応えられない状態が続いており、将来的には新しく従業員も雇い規模拡大を目指したいとのこと。

また、開業してからこれまで正月以外年中無休で、毎日朝6時から遅いときは夜10時まで一生懸命仕事をされてきた。目の前の仕事をこなすことに追われ余裕のない状態が続いてきたが、これからはお客さんと触れ合う時間を大切にするため、日帰りツーリングやバーベキューなどのイベントを開催し、TATENOBASEが、これまで以上に楽しく集えるガレージとなるよう努めていきたいとのこと。

編集後記

今年の梅雨入りは6月22日と平年より11日遅いものの、梅雨入り早々に警報級大雨と猛暑が隣合わせとなるなど警戒が必要な時期を迎えています。山野地域づくり協議会の第5回総会が5月25日開催され今年度の事業と予算が決定されました。これから夏本番を迎えるなか立山登山や盆踊りなど様々な事業に皆さんの参加をお願いします。

(広報委員会)